入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

平成２６年　２月　７日

独立行政法人水産総合研究センター
中央水産研究所長　時村　宗春

１．調達内容

（１）調達物品及び数量　魚類個体測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム　外１点

（２）調達物品の仕様　入札説明書による

（３）納入期限　平成２６年３月２８日

（４）納入場所　入札説明書による

（５）入札方法　落札決定に当たっては，入札書に記載された金額に当該金額の１００分の５に相当する額を加算した金額（当該金額に１円未満の端数があるときは，その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので，入札者は，消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず，見積もった契約希望金額の１０５分の１００に相当する金額を入札書に記載すること。

２．競争参加資格

（１）独立行政法人水産総合研究センター契約事務取扱規程（平成１３年４月１日付け１３水研第６５号）第１２条第１項及び第１３条の規定に該当しない者であること。

（２）平成25年度，平成26年度，平成27年度独立行政法人水産総合研究センター競争参加資格又は全省庁統一資格の「物品の販売契約」の業種「精密機器類」で「Ａ」、「Ｂ」、「Ｃ」又は「Ｄ」いずれかの等級に格付けされている者であること。

（３）独立行政法人水産総合研究センター理事長から物品の製造契約，物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
ただし，全省庁統一資格に格付けされている者である場合は，国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。

３．入札の日時及び場所等

（１）入札説明書の交付方法

①直接交付
〒２３６－８６４８
神奈川県横浜市金沢区福浦２－１２－４
独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所
業務推進部業務管理課用度係
電話０４５－７８８－７６２４
ＦＡＸ０４５－７８８－５００１

②郵送による交付
封書に「魚類個体測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム　外１点入札説明書希望」と記入し、返信用封筒（角２）に２４０円切手を添付し上記①宛に郵送のこと。

③メールによる交付
任意書式に「魚類個体測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム　外１点入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてにＦＡＸ送信すること。

（２）入札説明会の日時及び場所

仕様書等に関し質疑がある場合には、平成２６年２月１４日までに上記（１）①あてにメール又はファックスにて質疑を行うこと。
当日までの質疑を取りまとめ、回答は上記（１）により入札説明書の交付を受けた者全員に対して行うとともに当センターのホームページにて公表することにより入札説明会に代える。
なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。

（３）入札書の受領期限及び提出場所

平成２６年　２月２４日　１７時
神奈川県横浜市金沢区福浦２－１２－４
独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所
業務推進部業務管理課用度係

（４）開札の日時及び場所

平成２６年　２月２５日　１４時
神奈川県横浜市金沢区福浦２－１２－４
独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所
ビデオライブラリー室

（５）入札者に要求される事項　この一般競争に参加を希望する者は，封印した入札

書に本公告に示した物品を納入できることを証明する書類を添付して入札書の受領期限までに提出しなければならない。入札者は、開札までの間において、独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所長から当該書類に関し説明を求められた場合は，それに応じなければならない。

4．その他

（1）契約手続きにおいて使用する言語及び通貨　日本語及び日本国通貨。

（2）入札保証金及び契約保証金　免除。

（3）入札の無効　本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。

（4）契約書作成の要否　要。

（5）落札者の決定方法　予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

（6）競争参加者は，入札の際に独立行政法人水産総合研究センターの資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。

（7）詳細は入札説明書による。

5．契約に係る情報の公表

（1）公表の対象となる契約先

次の①及び②いずれにも該当する契約先

① 当センターにおいて役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等[※注1]として再就職していること

② 当センターとの間の取引高が、総売上高又は事業収入の３分の１以上を占めていること[※注2]

※注１　「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。

※注２　総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。

（2）公表する情報

上記（１）に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。

① 当センターの役員経験者及び課長相当職以上経験者（当センターＯＢ）の人数、職名及び当センターにおける最終職名

② 当センターとの間の取引高

③ 総売上高又は事業収入に占める当センターとの間の取引高の割合が、次の区分のいずれかに該当する旨

３分の１以上２分の１未満、２分の１以上３分の２未満又は３分の２以上

④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨

（3）当センターに提供していただく情報

① 契約締結日時点で在職している当センターＯＢに係る情報（人数、現在の職名及び当センターにおける最終職名等）

② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当センターとの間の取引高

（4）公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として７２日以内（４月に締結した契約については原則として９３日以内）

（5）その他

当センターホームページ（契約に関する情報）に「独立行政法人水産総合研究センターが行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認いただくとともに、所要の情報の当センターへの提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。

なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもって同意されたものとみなさせていただきますので、ご了知願います。

魚類個体測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム　外１点

調達仕様書

独立行政法人水産総合研究センター
中央水産研究所

第１章　総則

１．目的及び用途

この仕様書は，独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所が調達する、①魚類個体測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム・②簡易分析測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム（以下「本装置」という。）について規定する。

２．調達数量

①魚類個体測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム　一式
②簡易分析測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム　一式

３．納入場所

〒２３６－８６４８　神奈川県横浜市金沢区福浦２－１２－４
独立行政法人水産総合研究センター　中央水産研究所

４．検査

本装置は、独立行政法人水産総合研究センター中央水産研究所の検査職員による検査を受け，合格しなければならない。

５．その他

（１）本装置の搬送・搬入・据付調整は，受注者側で行うこと。
（２）受注者は、平成２６年3月２８日までに納入、据付調整を行うこと。
（３）受注者は、本装置納入後、操作に従事する職員に対し充分な取扱説明を行うこと。
（４）受注者は、本装置の取扱説明書を和文あるいは英文各１部以上添付すること。

第２章　構成

１．本装置の概要

本装置はNaI(TI)検出器･光電子増倍管･DPP･MCAから成る本体とガンマ線遮蔽装置、データ処理装置(データ処理パソコンソフトを含む)、試料調製用機器、線源よりより構成され，①魚類生体中の放射性セシウムから放出されるγ線スペクトル測定、②海洋等環境試料中の放射性セシウムから放出されるγ線スペクトル測定を行う装置である。①②共測定したスペクトルから試料の放射能濃度を求めることができる。

２．本装置の構成および数量

①魚類個体測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム　　一式
②簡易分析測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム　　一式

内訳

（１）本体	各１台
（２）ガンマ線遮蔽装置	各１台
（３）データ処理装置	各１式
（４）試料調製用機器	各１式
（５）線源	各１式

第３章　本装置の仕様

１．本装置のガンマ線検出部及びMCAは以下の仕様を満たすこと。

（１）３x３インチ以上のNaI(TI)シンチレータを用いていること。
（２）測定できるガンマ線のエネルギー幅は40keV～2000keVを確実にカバーすること。
（３）エネルギー分解能が、662keVにおいて8%(FWHM)以下であること。
（４）Cs-134とCs-137の放射能濃度はそれぞれ独立して測定できること。

２．本装置のガンマ線遮蔽装置は、それぞれの装置ごとに以下の仕様を満たすこと。

①魚類個体測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム

（１）Ge検出器用２Lマリネリ容器を出し入れできるだけの十分な容積(縦横188mm以上、高さ244mm以上、検出部より上部が150mm以上)を内部に有し，かつ上面開閉式扉であること。
（２）厚さ70mm以上の鉛板に加え、内側に厚さ5mm以上の真鍮板を装備し、放射性セシウム（Cs-134+Cs-137）の検出下限(3σ)が1Lマリネリ容器で水を測定した場合15分の測定時間で5.0 Bq/kg以下であること。
（３）キャスター（もしくは台車）が設置されており、容易に移動することができること。
（４）台車等を含み装置の重量が1,000 kg以下であること。

②簡易分析測定用ガンマ線スペクトロメータ放射能濃度測定システム

（１）１L マリネリ容器を出し入れできるだけの十分な容積を内部に有し，かつ上面開閉式扉であること。
（２）厚さ50mm以上の鉛板に加え、内側に厚さ３mm以上の真鍮板を装備し、放射性セシウム（Cs-134+Cs-137）の検出下限(3σ)が1Lマリネリ容器で水を測定した場合15分の測定条

件で 10 Bq/kg 以下であること。
（３）キャスター（もしくは台車）が設置されており、容易に移動することができること。

３．本装置のデータ処理装置は以下の仕様を満たすこと。
（１)データ処理装置はγ線データ解析用のソフトウエアを搭載した市販のノート型パソコンとデータ印刷用のプリンターで構成すること。

４．本装置の試料調製用機器は以下の仕様を満たすこと。
（１）デジタル表示式、最大 3kg、分解能力 0.1g の電子天秤であること。
（２）デジタル表示式の温湿度計であること。
（３）本器で使用できる試料容器として、1L マリネリ容器、500mL マリネリ容器、900mL ポリ容器、350mL ポリ容器の４種を各５個以上付属しており、350mL ポリ容器を除き本体がポリプロピレン製、蓋はポリエチレン製で密閉式であること。

５．本装置の線源は以下の仕様を満たすこと。
（１）感度確認用線源として、350 mL ポリ容器入り Cs-137 密封線源（日本アイソトープ協会製）1 個を付属すること。
（２）エネルギー校正用線源として、350 mL ポリ容器入り KCl 1 個及び 350 mL ポリ容器入り超低濃度天然ウラン 1 個を付属すること。

６．本装置のシステム全体として以下の仕様を満たすこと
（１）測定確度は、日本アイソトープ協会製 JCSS 校正済み標準体積線源基準値に対して±10%以内であること。
（２）0～40℃の温度範囲（ただし結露がないこと）および 80%以下の湿度で動作可能であること。
（３）0.1℃分解能の検出器内蔵温度センサーを基準に測定中自動でファインゲインを制御できること。また、エネルギー変動幅は 0℃～40℃の範囲で±0.3%以内であること。